

5月10日 毎月1日・10日発行

＝平成10年(1998年)＝

旬刊 第1383号

# 柔道新聞

THE JUDO SHIMBUN

1952年4月9日 第三種郵便物認可

日本柔道新聞社

東京都新宿区早稲田町5-32

〒162-0041 興和プラザビル

☎ 03 (3202) 1777

FAX 03 (3202) 1666

## 柔道・ちよつといい話

### 愛知の中高生が国際大会参加

若い柔道生徒が積極的に海外へ出て、指導活動や武者修行を行いながら国際交流を深めていくことが大切、とコラムに書いて、多くの賛同を頂いた。全日本女子選手権大会が行われた会場で、高濱久和愛知県強化委員長(愛知県警察学校主任教官)からいい話も聞いた。2月に行われたカナダのカムルプス・インターナショナル柔道大会に、県下の中高生24名(他に高濱団長以下引退者7名)が大勢して参加し、男女シニア・ジュニア・少年・少女の各階級で全員が入賞を果たした(優勝9階級)という。成績もさることながら、ホームステイを通して外国のチビッコ柔道選手と友好を深め、柔道の楽しさを伝え合ったことが何よりも素晴らしいと思った。

高濱さんは大学4年の時、1年間休学してバンクーバーのブリティッシュコロンビア大

学へ単身柔道指導に出掛けた。25年前の話だが、あの時現役選手を1年権に振ることに悩んだという。しかし真国で教えることで、自分の人間にも柔道にも磨きがかかった。帰国後全日本出場、東京都大会5段の歴で優勝。しかし高濱さんはあの時の決断に、多くの教え子や友人と25年間友情が持続したことに最大の価値を見出し出している。今回の遠征も、カナダの古い友人たちと高濱さんが、お互いに精一杯努力して実現した。現地の新聞は、ミスタ・タカハマの恩はひと時も忘れていないと大きく掲載した。参加した子供達の体験談がまた楽しい。実に多くのことを学び、素晴らしい感動を味わったようだ。この体験は21世紀に向けて無限の広がりをみせてくれるような気がした。

若者よ、世界に羽ばたけ。